

看護師職能 I 通信

第 2 号 2024 年 2 月発行

働き方特集！ ～ 様々な視点での取り組み～

2023 年度、看護師職能 I 病院領域の活動方針として「病院看護職の働き方改革の推進に向けた課題発見・意見集約」が挙げられています。その取り組みの 1 つに「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアの推進に関する好事例の収集・周知」があります。

2023 年度日本看護学会学術集会のシンポジウムでは、看護師のベッドサイドケア時間を更に確保すること等を目的に、「看護補助者の定着・協働推進に向けた業務の細分化」についての実践報告がありました。看護師が専門性をより発揮するため、看護補助者との協働の重要性が増しています。

皆さんは、厚生労働省委託事業である看護業務効率化先進事例収集・周知事業「看護業務の効率化先進事例アワード」をご存知でしょうか。看護職がより専門性を発揮できる働き方の推進や生産性の向上、看護サービスの質の向上を図るため、看護業務の効率化に関する先駆的な取り組みを収集し、その中から汎用性が高く効果のある取り組みを表彰し、広く周知する事業です。2019 年に最優秀賞を受賞したのは一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センターの「『ユニフォーム2色制』と『ポリバレンタース育成』による持続可能な残業削減への取り組み」でした。これは、業務をスムーズに引き継ぐため日勤と夜勤のユニフォームの色を変えて勤務者を明確にしたことと、所属看護単位を超えた支援が行える看護師を育成するプログラム制度をつくり、複数のポジションをこなすポリバレンタースを活用したことで、残業時間と始業前労働時間の削減に効果があったという取り組みです。

今回は、看護補助者の働き方の工夫とユニフォーム2色制の取り組みを行っている県内の病院の活動を紹介します。

当院における病棟看護補助と病棟ハウスキーパーのタスク・シフト/シェア

医療法人 清和会 看護部 部長 菅原宏則

当院は、人口約 11 万の岩手県南地区奥州市にある老健施設等を併設した地域密着型の病院です。年々高齢化率が高まり、働き世代と言われる人口も減少し、さらに昨今の新興感染症の流行も起因しているためか、医療、福祉関係の仕事を目指そうと思われる方々が減少しているように感じられ、タスク・シフト/シェアや様々な働き方を工夫するなど、コメディカルの確保や採用にここ数年試行錯誤しています。その中で最も採用困難な職種は看護補助者です。

当院では介護福祉士の割合が多く、国が高齢者施設で働く人材確保のために介護福祉士の雇用に関して給料面等の処遇改善を行ったためか退職する看護補助者が多くなっています。上記の影響だけではないと考えられますが、現在、看護補助者の確保に非常に苦勞しています。そこで、約 3 年前より病棟看護補助者と病棟ハウスキーパーのタスク・シフト/シェアを進めました。



看護補助者の業務見直し過程の紹介

- 総看護師長をはじめとする病棟管理者で WG の立ち上げ
- 業務を分類

大項目⇒①患者さんに直接接する業務

看護補助者(入浴介助、食事介助、おむつ交換、清拭の業務等)

②患者さん直接接しない業務

病棟ハウスキーパー(床頭台の清掃、リネン交換等の環境整備業務)

中項目⇒①3 病棟、透析外来のそれぞれの業務が多忙になる時間帯の把握

②病棟ハウスキーパーの配置数の検討

小項目⇒病棟看護補助者と病棟ハウスキーパーの業務が重ならないよう 1 日の業務時間の検討と見直し

- 必要な研修の実施

病棟ハウスキーパーには看護補助者のための適切な研修(医療安全、感染管理を含み)を行った上、病棟の業務につく事を条件としました。

このタスク・シフト/シェアを進め、看護師、看護補助者、ハウスキーパーがそれぞれの役割を遂行できることで仕事量や時間の面で患者ケアの質向上に繋がられたと考えます。

現在まで病棟ハウスキーパーの採用は5名で、横断的に業務しています。今後は各病棟に配置し、総看護師長をはじめとする各病棟管理者の管理のもと、その病棟の特色や役割に柔軟に対応し業務を遂行していただけるものと期待しています。

最後に、医療や福祉施設は今後人材確保が更に厳しい状況になるものと考えます。様々な働き方、人材の多様性も含め柔軟に対応していく事が重要です。「中小規模の病院だからできない」ではなく、「中小規模の病院だからこそ改革できる」面もあろうかと思えます。弱みを強みに替え、今後も地域医療に貢献できるよう努力してまいります。

日勤と夜勤のユニフォーム 2 色制の効果



<川久保病院>
日勤が白で
夜勤がワインレッドです！



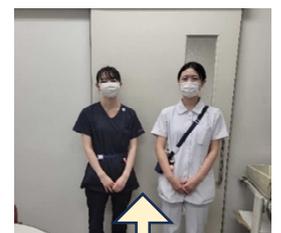
<孝仁病院>
マスクで色分け!!
日勤が白で、夜勤が青

看護師のユニフォームの色分けは、残業時間の抑制効果から、今では働き方改革の一環となっています。医師や看護師はオーバーワークになりがちです。日勤と夜勤の違いがわかるだけで、勤務終了間際の仕事の依頼などの声かけがなくなるなど、小さなことのように思いますが、効果抜群なのです。単なる色分けだけでなく、デザインやカラーが変わるだけでも、今までの単一の白衣とは異なりモチベーションアップにも繋がっているのも事実です。また、コロナ禍で必須となったマスクのカラーを日勤と夜勤で分けている病院もあります。コスト面の負担も少なく、すぐにも実践できるアイデアだと感じました。写真提供にご協力頂いた病院をご紹介します。

川久保病院は 2021 年にユニフォーム2色制を取り入れていますが、コロナ禍の影響もあり、時間外勤務が減ったと言うデータはないようですが、他部署や他部門のスタッフから「誰が夜勤者か明確になった」「勤務時間外のスタッフに頼み事をしないよう配慮できる」などの声が聞かれ好評です。



<県立病院>
日勤が白で
夜勤がワインレッドです
パンツは紺！



<盛岡市立病院>
日勤がネイビーで
夜勤が白です

看護職員の処遇改善の実現に向けて



2022年11月18日に国家公務員医療職俸給表(三)の級別標準職務表を改正する人事院規則の内容が公表されました。国が進める看護職員の処遇改善や、医療職俸給表(三)の見直しがされても、処遇を最終的に決定するのは各医療機関です。専門性を発揮し組織に貢献している人が報われる賃金制度の実現を目指し、まずは看護職員一人ひとりが、専門性にふさわしい賃金について考えることが大切です。

日本看護協会では「看護職員の処遇改善キャンペーン」の一環としてリーフレットを作成しています。まずはリーフレットに目を通し、私たちの賃金について一度しっかり考えてみませんか？

JAN処遇改善リーフレット



あなたの目指す看護師像とは？

～ 開いてみましょう！ 看護師のまなび サポートブック ～

日本看護協会は、看護職が主体的に学ぶための考え方を示し、様々な組織が看護職の学びを支援する際のポイントを示すことを目的

2023年6月に「看護職の生涯学習ガイドライン」を策定しています。岩手県看護協会の2024年度研修も、このガイドラインに合わせて教育目的・目標・研修分類などの見直しが行われました。

「看護師のまなび サポートブック」は、看護職の生涯学習ガイドラインに基づき、看護師が学びを進めていくことをサポートする看護師個人向けの1冊です。「生涯学習と言われても、何をどのように学ばよいの？」と思う時、状況に応じた自分の学びの一步を踏み出すヒントが得られます！この機会に一度開いてみませんか。

看護師を雇用している組織向けの「生涯学習支援ガイドブック」も合わせて公開されていますので、参照してみましょう。

看護師のまなび サポートブック



看護師の自賠償保険をご存じですか？

看護協会会員だけが入れる、看護職員のための保険です！

- ・患者さんの私物を壊してしまいました
- ・入れ歯を壊してしまいました



厳しい医療業界・・・

あなたはどうやって自分の身を守りますか？
誰が守ってくれるの？

保障の対象となります

掛け金 年間 2,650 円で
安心を手に入ませんか？

★**会員専用の制度** 看護協会会員専用の保険制度(開業助産師を除く)

★独自のサポート体制 看護業務上生じた**医療安全・ハラスメント問題に関する**独自のサポート

★2023 年度更に、保証内容が**広がりました!!**

起こる確率は低いが起こった場合、日常生活が一変するほど大きなリスクへ備えるため・・・

私たちも身を守る道具が必要です！

お近くにまだ入会していな方がおりましたら、是非、入会をお勧めください♥

日本看護協会 看護職賠償責任保険制度 

<https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/azen/insurance/index.html>



最後に・・・<看護師職能委員会 I > ごあいさつ

看護師のみなさま こんにちは。日頃より、岩手県看護協会看護師職能委員会 I の活動にご協力いただきありがとうございます。新年早々に発生した能登半島地震・羽田の飛行機事故の映像を見つめながら、我々の経験した 3.11 の東日本大震災を思い、胸を痛めている方も多いと思います。

新型コロナウイルス・インフルエンザなどの感染症の拡大予防に休む間もなくご尽力される中、震災や事故が次々に起こり、有事への備えを確認しなければ！と思う年の始まりでした。医療の最前線で人々の健康を守る看護職のみなさま、仲間達と手を携え、ねじりはちまきで頑張ってください！



看護師職能委員会 I は病院領域で働く看護師の活動を支援するため、次年度も看護職が元気になれるよう楽しく学べる交流会を企画しております。

今後とも、看護師職能 I の活動に、ご支援ご協力をお願いいたします。

委員の紹介: **委員長** 千葉真理子 **副委員長** 佐々木恵

委員 中村由紀 長澤昌子 菅原由美子 高橋貴子

担当理事 目時のり

